

# 授業研究協議会の発言の高まり

平成 28 年 4 月



## ステージ 1

授業の印象や感想を述べる

### 発言例

- ・ 子供の話を聞く態度がよかった。
- ・ 子供がしっかり話を聞いてよかった。
- ・ グループの話し合いが活発でよかった。
- ・ 板書がすっきりまとまっていた。
- ・ ノートをきれいに書いていた。



## ステージ 2

目に見える子供の姿や教師の手立てを述べる  
(事実を述べる)



〈子供〉

### 個

### 発言例

・ ○さんは△△という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

### 集団

### 発言例

・ ○グループは、□□という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

### 子供の観察の観点

- ・ 活動…どんな動きをしたか
- ・ ノート…何を記録したか  
どんな考えを書いたか
- ・ 友達との関わり…誰と何を話したか
- ・ 発言…何を述べたか
- ・ つぶやき…いつ、どんな、誰に
- ・ 表情…表情の変化の有無
- ・ ものとの関わり…事物現象、表現、作品などにどんな働きかけをしたか

〈教師〉



### 発言例

・ 教師は、○○の時に(いつ)、みんなに(誰に)、△△という手立て(方法)を行っていたのがよかった(感想)と思う。

### 教師の手立て観察の観点

- ・ 発問(発言)…どのような発問(または補助発問)をしたか
- ・ 問い返し…誰のどのような意見にどのように問い返したか
- ・ 指名…意図的指名か、どの意見の後に指名したか
- ・ 板書…いつ、どこに、どのように、配色、字の大きさ、掲示物、構成
- ・ 教材提示…どのタイミングで何を
- ・ 学習形態…全体、グループ、ペア、個人 友達訪問、いつ
- ・ 表情…身振り手振り、立ち位置、声の調子、視線、目配せ、腕組み、姿勢

## ステージ 3

★教師のどんな手立てが、子供の姿容に有効であったかについて述べる

★ねらいを達成するための教材の扱い方が適切だったかを述べる(教材研究)



〈子供〉

子供の姿容を(姿容の瞬間を捉えて)述べる

- ・ つぶやき(えっ?等)
- ・ 表情(納得、困惑等)
- ・ 行動(挙手の勢い等)
- ・ 発言(強い口調等)
- ・ ノート(内容、書く勢い等)
- ・ 友達への関わり(進んで自ら関わる等)
- ・ 物への関わり(新しい方法を試す等)

### 発言例

・ ○○さんは、△△という活動(意見)をしていたが、□□という活動(意見)に変わった。

・ 子供たちの考えが変わったのは教師の○○の手立てがあったからだ。

### 発言例

- ・ 単元の全体計画が適切であったか。
- ・ ○○を提示したことは、△△の力を付ける上で有効だった。

〈教師〉



子供の姿容を促した教師の手立てを述べる

- ・ 発問(発言)・問い返し
- ・ 指名・板書・教材提示
- ・ 学習形態・表情(笑顔 口調・視線等)

### 発言例

・ 教師が○○の時(いつ)△△さん(誰)に□□という手立て(方法)を行ったとき、子供が変わった。

教科のねらいと授業での教材の扱い方との関連について述べる

- ・ 本時の学習課題は適切だったか
- ・ 教材の扱いは正しかったか、子供の実態に合っていたか。

## ステージ 4

本時の授業の視点や授業改善のために一般化できるように述べる

本授業をよりよくするための「代案」について話し合う。

### 発言例

・ こんなやり方はどうか?

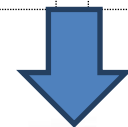
・ もっと○○したら子供はよく考える(動く)のではないか。

本授業を観て、自分の日々の授業でどう生かせるか話す。

### 発言例

・ ~の手立ては○○教科でも生かせる。

・ ○年生では△△が有効だったが、○年生では△△したほうが有効だ。



## 協議会 最後の発言例

【授業者】今日の協議内容から○○がわかりました。今後、△△に気を付け、○○な授業を目指したい。

【参観者】今日の協議会で、○○を学びました。今後、△△に気を付け、○○な授業を目指したい。

